

週間漁海況情報 2025年第42号

令和7年10月21日発行

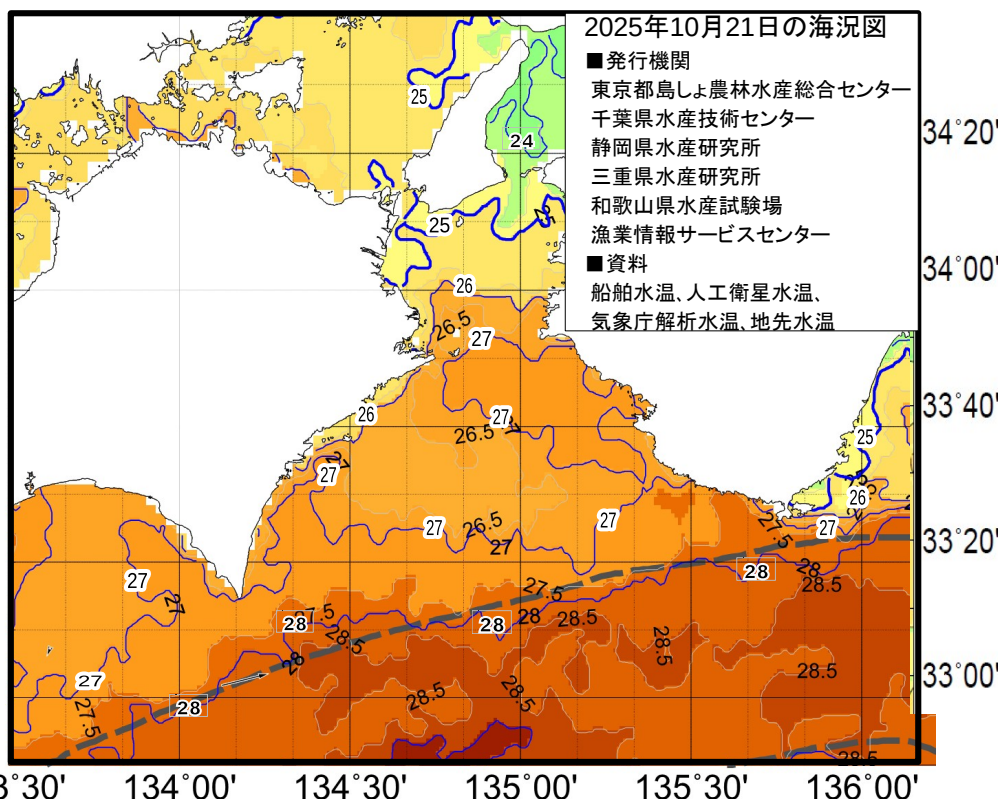
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～25、紀伊水道で24～26、海部沿岸で25～27℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

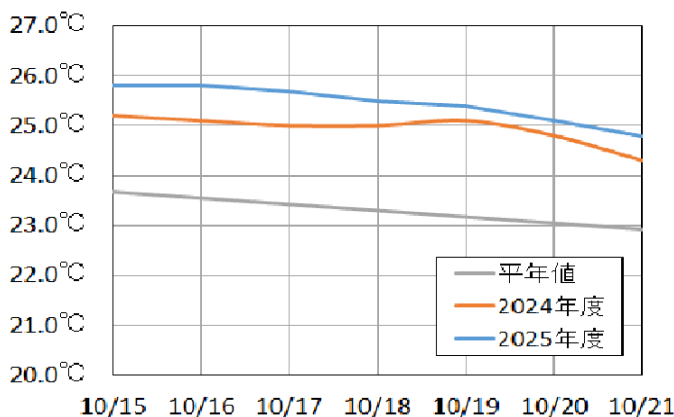
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(10月15日～10月21日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

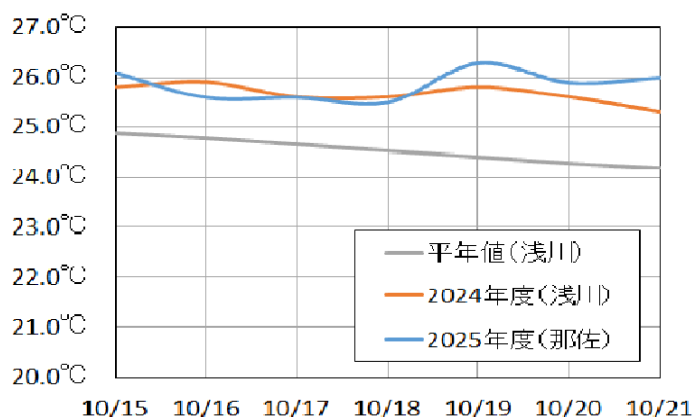
鳴門地区の水温は、25.8～24.8℃で「高め」で推移。那佐地区は、25.5～26.3℃。

鳴門と那佐地区の水温差は、-0.2～1.2℃だった。

鳴門地区



那佐地区(昨年度と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月22日～10月28日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (10月13日～10月19日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが増えて74.3ト水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて4.6ト、あまだい類が0.7ト水揚げされた。

底びき網では、クマエビが大きく増えて2.2ト、ハモが増えて中主体に1.4ト、えそ類が大きく増えて1.4ト、モンゴウイカが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に1ト、メジナが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に1ト、カンパチが増えて0.5ト、

マルアジが小主体に0.4ト、アイゴが0.3ト、ふえだい類が大きく増えて0.3ト、マダイが小小主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、かます類が大きく増えて0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	74,250	743		↗
	延縄	49	サワラ	4,629	94		↗
		47	あまだい類	706	15		→
	底びき網	29	クマエビ	2,167	75		↗↗
		29	ハモ	1,414	49	中主体	↗
		29	えそ類	1,388	48		↗↗
		29	モンゴウイカ	214	7		↗↗
	建網	120	カワハギ	983	8	大主体	↗↗
		73	メジナ	231	3		↗↗
	小型定置網	17	マアジ	1,034	61	豆あじ級主体	↗
		15	カンパチ	532	35		↗
		16	マルアジ	441	28	小主体	→
		13	アイゴ	338	26		→
		12	ふえだい類	262	22		↗↗
		14	マダイ	219	16	小小主体	→
海部沿岸	小型定置網	6	かます類	553	92		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘